

平成 3 0 年 度

歳入歳出決算補充説明

教 育 委 員 会

平成30年度一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会所管の事務事業に係る決算の概要をご説明申し上げます。

(歳入)

教育委員会関係の歳入決算額は、

予算現額	386億2,695万3,320円
調定額	384億 155万6,399円
収入済額	382億5,040万9,980円
収入未済額	1億5,114万6,419円

であります。

(歳出)

第10款教育費のうち、教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,579億9,932万9,600円
支出済額	1,574億2,623万5,461円
翌年度繰越額	950万円
不用額	5億6,359万4,139円

であります。

また、第11款災害復旧費のうち、教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,501万1,720円
支出済額	1,328万9,107円
不用額	172万2,613円

であります。

教育費と災害復旧費を合わせた教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,580億1,434万1,320円
支出済額	1,574億3,952万4,568円
翌年度繰越額	950万円
不用額	5億6,531万6,752円

となっております。

以下、お手元の「平成30年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算につきましてご説明申し上げます。

第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第8目教育使用料（52頁）
は、

予算現額 43億2,276万7,000円
調定額 43億2,177万2,618円
収入済額 43億2,160万4,398円
収入未済額 16万8,220円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校授業料	43億1,866万8,540円
土地使用料	251万1,890円
建物使用料	42万3,968円

なお、収入済額は、予算現額に比べて116万2,602円の減収となりましたが、これは主に、高等学校授業料の減によるものです。

収入未済額は全額、高等学校授業料に係るものです。

次に、第2項手数料、第9目教育手数料（68頁）は、

予算現額 1億2,721万3,000円
調定額 1億2,683万8,420円
収入済額 1億2,683万8,420円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教育職員免許状授与等手数料	1,569万3,320円
高等学校入学選抜手数料	3,780万3,750円
高等学校入学料	6,877万9,450円

なお、収入済額は、予算現額に比べて37万4,580円の減収となりましたが、これは主に、高等学校入学選抜手数料の減によるものです。

第9款国庫支出金、第1項国庫負担金、第7目教育費負担金（76頁）は、

予算現額 240億 69万円
調定額 239億9,797万 84円
収入済額 239億9,797万 84円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
義務教育費負担金	239億4,222万 208円
特別支援学校就学奨励費負担金	5,381万2,180円

なお、収入済額は、予算現額に比べて271万9,916円の減収となりましたが、これは主に、特別支援学校就学奨励費負担金の減によるものです。

次に、第8目災害復旧費負担金（76頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 650万6,000円
調定額 650万6,000円
収入済額 650万6,000円 で、

収入済額は全額、県立学校施設災害復旧費負担金であり、平成29年度の台風第21号により被害を受けた県立学校の復旧に係る事業の繰越に伴い、前年度から財源を繰り越したものです。

次に、第2項国庫補助金、第9目教育費補助金（100頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 39億3,339万7,000円
調定額 39億1,193万 745円
収入済額 39億1,193万 745円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
スクールカウンセラー活用事業補助金	7,232万1,000円
高等学校等就学支援金交付金	35億2,904万8,458円
学校施設環境改善交付金	4,351万5,000円
高等学校等修学支援事業費補助金	1億2,246万 968円

なお、収入済額は、予算現額に比べて2,146万6,255円の減収となりましたが、これは主に、国の平成30年度補正予算に基づく鈴鹿青少年センター等に関する民間活力導入可能性調査について、全額繰り越して翌年度の収入となったことによるものです。

次に、第3項委託金、第8目教育費委託金（110頁）は、

予算現額 1億3,870万6,000円
調定額 1億3,410万7,194円
収入済額 1億3,410万7,194円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教育方法等改善研究委託金	449万 436円
在外教育施設派遣教員委託金	8,749万9,039円
スーパーグローバルハイスクール事業委託金	540万円
学校安全総合支援事業委託金	441万5,096円

なお、収入済額は、予算現額に比べて459万8,806円の減収となりましたが、これは主に、いじめ対策・不登校支援等推進事業委託金の減によるものです。

第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入（116頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 6,192万9,000円
調定額 6,206万3,547円
収入済額 6,206万3,547円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
地所貸下料	3,303万4,322円
家屋貸下料	2,902万9,225円

これは、自動販売機設置場所を貸付けたことによるものです。

次に、第2目利子及び配当金（116頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 96万6,000円
調定額 81万6,347円
収入済額 81万6,347円 で、

収入済額は全額、三重県高等学校等修学奨学基金の運用収入です。

次に、第2項財産売払収入、第2目物品売払収入（116頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	1,856万1,000円
調定額	1,489万6,212円
収入済額	1,489万6,212円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
物品売払収入	4万9,736円
教育関係物品売払収入	1,484万6,476円

なお、収入済額は、予算現額に比べて366万4,788円の減収となりましたが、これは主に、農業高等学校の動物等売払の実績減によるものです。

次に、第3目生産物売払収入（118頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	4,560万7,000円
調定額	3,453万6,454円
収入済額	3,453万6,454円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校生産品売払収入	3,248万6,208円
実習船漁獲物売払収入	205万 246円

なお、収入済額は、予算現額に比べて1,107万546円の減収となりましたが、これは高等学校生産品売払収入および実習船漁獲物売払収入の実績減によるものです。

第11款寄附金、第1項寄附金、第2目教育費寄附金（120頁）は、

予算現額	736万円
調定額	749万円
収入済額	749万円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校等修学奨学金寄附金	12万円
平成30年度全国高等学校総合体育大会寄附金	500万円
高等学校寄附金	227万円
特別支援学校寄附金	10万円

これは、平成30年度全国高等学校総合体育大会寄附金などの寄附を頂いたものです。

第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金（124頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	6億 798万2,000円
調定額	5億9,690万1,707円
収入済額	5億9,690万1,707円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
昭和学寮顕彰人材育成基金繰入金	2,894万1,592円
体育スポーツ振興基金繰入金	9,152万3,007円
財政調整基金繰入金	3億8,530万7,000円
高等学校等修学奨学基金繰入金	8,343万9,074円

なお、収入済額は、予算現額に比べて1,108万293円の減収となりましたが、これは基金を充当している事業の実績減によるものです。

第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金（126頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	1,381万 320円
調定額	1,381万 320円
収入済額	1,381万 320円 で、

収入済額は、四日市工業高等学校専攻科棟および四日市商業高等学校の建築工事、平成29年度の台風第21号による四日市南高等学校および紀南高等学校の復旧工事並びに文化財補助事業の繰越に伴い、前年度から財源を繰り越したものです。

第14款諸収入、第4項貸付金元利収入、第11目進学奨励金返還金収入（130頁）は、

予算現額	809万2,000円
調定額	1,271万5,304円
収入済額	1,039万1,231円
収入未済額	232万4,073円 で、

収入済額は、予算現額に比べて229万9,231円の増収となりました。

次に、第22目高等学校等修学奨学金返還金収入（130頁）は、

予算現額	3億 616万円
調定額	3億3,422万 664円
収入済額	3億 616万4,424円
収入未済額	2,805万6,240円 で、

収入済額は、予算現額に比べて4,424円の増収となりました。

次に、第5項受託事業収入、第6目教育関係受託事業収入（136頁）は、

予算現額 1億5,484万5,000円
 調定額 1億5,478万円
 収入済額 1億5,478万円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
文化財調査受託事業収入	1億5,419万円

次に、第6項収益事業収入、第1目宝くじ収入（138頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 1億8,076万9,000円
 調定額 1億8,076万9,000円
 収入済額 1億8,076万9,000円 で、

収入済額は全額、語学指導等を行う外国青年招致事業に充当したものです。

次に、第8項雑入、第2目雑入（138頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額 3億5,379万5,000円
 調定額 3億 899万9,501円
 収入済額 3億 828万2,599円
 収入未済額 71万6,902円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教員住宅使用料	3,810万8,265円
A L T家賃	2,182万5,611円
日本スポーツ振興センター共済負担金	6,075万8,720円
日本スポーツ振興センター共済給付金	9,211万9,925円

なお、収入済額は、予算現額に比べて4,551万2,401円の減収となりましたが、これは主に日本スポーツ振興センター共済給付金の交付額の実績減によるものです。

収入未済額のうち主なものは、高等学校等修学奨学金返還金にかかる遅延損害金等です。

次に、第3目過年度収入（142頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	1,479万8,000円
調定額	1億3,568万9,074円
収入済額	1,580万8,090円
収入未済額	1億1,988万984円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
(過年度)高等学校等修学奨学金返還金	1,221万6,323円
(過年度)進学奨励金返還金	160万2,979円

収入未済額のうち主なものは、高等学校等修学奨学金返還金、進学奨励金返還金、教職員退職手当返納金等です。

次に、第5目弁償金（142頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	0円
調定額	11万8,908円
収入済額	11万8,908円 で、

収入済額は、県立学校のパソコンの損傷による弁償金です。

第15款県債、第1項県債、第8目教育債（160頁）は、

予算現額	43億2,000万円
調定額	40億4,000万円
収入済額	40億4,000万円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
校舎その他建築費充当	12億4,000万円
特別支援学校施設建築費充当	1億4,700万円
教職員退職手当充当	24億7,000万円
専攻科設置準備事業費充当	7,600万円

次に、第9目災害復旧債（162頁）のうち、教育委員会関係は、

予算現額	300万円
調定額	300万円
収入済額	300万円

で、

収入済額は全額、県立学校施設災害復旧費充当であり、平成29年度の台風第21号により被害を受けた県立学校の復旧に係る事業の繰越に伴い、前年度から財源を繰り越したものです。

以上で歳入決算の説明を終わります。引き続き歳出決算につきましてご説明申し上げます。

第10款教育費のうち、教育委員会関係といたしまして、

第1項教育総務費、第1目教育委員会費（432頁）は、

予算現額 902万1,000円
支出済額 820万6,476円
不用額 81万4,524円 で、

支出済額は、教育委員の報酬および教育委員会の開催等に要した経費です。

次に、第2目事務局費（432頁）は、

予算現額 27億9,567万2,000円
支出済額 27億6,107万6,066円
不用額 3,459万5,934円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	26億6,080万8,129円	事務局職員の給与費
管理企画費	9,555万 591円	教育委員会事務事業の企画調整、事務局運営、学力向上県民運動推進、学校防災推進に要した経費
公立文教施設整備事務費	182万4,131円	公立小中学校施設整備のための指導助言に要した経費
教育政策費	289万3,215円	教育改革の推進、高等学校活性化の推進に要した経費

不用額の主なものは、教育委員会事務局職員に係る給与費の執行残2,413万8,871円です。

次に、第3目教職員人事費（434頁）は、

予算現額 148億8,244万2,000円
 支出済額 146億9,224万3,886円
 不用額 1億9,019万8,114円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人事管理費	4,664万6,939円	教職員の人事・採用試験、育成支援等に要した経費
給与福利管理費	16万5,847円	教職員の給与福利管理に要した経費
電算システム管理費	6,911万3,511円	給与・旅費等のシステム運用管理に要した経費
教員免許ステップアップ事業費	555万1,529円	免許状の授与・検定、免許更新審査および免許法認定講習に要した経費
教職員退職手当	145億4,165万6,362円	教職員の退職手当
教職員人事管理システム運営費	2,910万9,698円	教職員人事管理システム運用管理に要した経費

不用額の主なものは、教職員退職手当の執行残1億4,629万4,638円です。

次に、第4目教育指導費（436頁）は、

予算現額 51億8,928万2,000円
 支出済額 51億4,672万9,028円
 不用額 4,255万2,972円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
指導行政費	3,707万3,126円	指導主事の活動、職業教育支援に要した経費
小・中学校生徒指導費	8,180万2,283円	小中学校における学力向上支援、いじめ・不登校対策、道徳教育支援等に要した経費
高等学校生徒指導費	1億5,889万8,463円	県立高等学校におけるキャリア教育、学力向上対策、国際教育等に要した経費
国際教育費	2億1,919万4,557円	県立高等学校の外国語指導助手の活動に要した経費
入学者選抜事務費	786万6,548円	県立高等学校入学者選抜事務に要した経費
奨学費	43億4,141万 176円	高等学校等修学奨学金、高校生等奨学給付金および就学支援金
特別支援教育振興費	3,157万3,829円	県立特別支援学校における医療的ケアの充実や就労・自立支援、発達障がい指導・支援等に要した経費
いじめ・不登校対策充実事業費	2億4,993万2,173円	スクールカウンセラーの配置等のいじめ・不登校対策に要した経費
外国人児童生徒支援費	1,897万7,873円	外国人児童生徒支援に要した経費

不用額の主なものは、高等学校生徒指導費の執行残628万537円、国際教育費の執行残620万443円、奨学費の執行残1,075万824円です。

次に、第5目総合教育センター費（438頁）は、

予算現額 1億4,644万9,000円
支出済額 1億4,473万6,717円
不用額 171万2,283円 で、

支出済額の主なものは、教職員の資質の向上を図るための研修・研究、総合教育センターの管理運営に要した経費です。

次に、第6目人権教育費（440頁）は、

予算現額 1億1,210万6,000円
支出済額 1億1,177万6,399円
不用額 32万9,601円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人権教育総合推進事業費	1億 232万3,846円	人権教育の推進および高等学校等進学奨励金等に要した経費
学校教育事業費	704万7,373円	学校人権教育の推進に要した経費
社会教育事業費	240万5,180円	社会人権教育の推進に要した経費

不用額は主に、人権教育総合推進事業費の執行残17万1,154円および学校教育事業費の執行残11万3,627円です。

次に、第7目恩給及び退職年金費（442頁）は、

予算現額 4,482万1,000円
支出済額 4,481万9,965円
不用額 1,035円 で、

支出済額は、退職教職員の恩給および年金です。

次に、第8目教職員厚生費（442頁）は、

予算現額 9億1,650万9,000円
支出済額 9億1,130万4,809円
不用額 520万4,191円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
教職員厚生費	6億9,144万1,573円	教職員および事務局職員の福利厚生に要した経費
教職員住宅費	2億1,986万3,236円	教職員住宅等の維持修繕および建設費用に係る償還に要した経費

不用額の主なものは、教職員厚生費の執行残509万427円です。

第2項小学校費、第1目教職員費（444頁）は、

予算現額 550億 247万5,000円
支出済額 549億9,230万4,298円
不用額 1,017万 702円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	547億7,617万7,076円	小学校教職員に係る人件費
旅費	2億1,612万7,222円	小学校教職員に係る旅費

不用額は主に、小学校の教職員に係る給与費の執行残839万3,924円です。

第3項中学校費、第1目教職員費（444頁）は、

予算現額 305億6,373万8,000円
支出済額 305億2,717万3,517円
不用額 3,656万4,483円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	303億2,132万7,690円	中学校教職員に係る人件費
旅費	1億9,599万5,481円	中学校教職員に係る旅費
学校部活動振興費	985万 346円	中学校の部活動振興に要した経費

不用額は主に、中学校の教職員に係る給与費の執行残2,365万4,310円です。

第4項高等学校費、第1目高等学校総務費（446頁）は、

予算現額 304億2,130万8,000円
 支出済額 303億8,612万 730円
 不用額 3,518万7,270円 で、

支出済額は、県立高等学校の教職員に係る人件費です。

次に、第2目高等学校管理費（446頁）は、

予算現額 30億4,668万3,000円
 支出済額 30億2,895万5,596円
 不用額 1,772万7,404円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校運営費	18億9,048万1,725円	県立高等学校の管理運営に要した経費
人事運営費	3,241万 918円	県立高等学校教職員の人事運営に関する経費
指導運営費	1,197万3,499円	県立学校納付金の徴収事務に要した経費
学校部活動振興費	4,568万8,537円	県立高等学校の部活動振興に要した経費
情報教育事業費	2億6,467万5,254円	情報教育機器設備等の充実に要した経費
実習船運営費	1億1,879万1,713円	水産高等学校実習船の運営等に要した経費
校舎その他修繕費	9,528万 793円	県立高等学校の校舎等の修繕、維持管理に要した経費
財産管理事務費	3億6,235万6,301円	県立高等学校の設備等の財産管理に要した経費
デジタルスクールネットワーク事業費	2億 729万6,856円	学校情報ネットワークの管理に要した経費

不用額の主なものは、学校運営費の執行残920万3,275円、情報教育事業費の執行残212万8,746円および財産管理事務費の執行残308万6,699円です。

次に、第3目学校建設費（448頁）は、

予算現額 15億6,708万3,600円
 支出済額 15億1,137万7,208円
 不用額 5,570万6,392円 で、

支出済額は、県立高等学校の改修や施設整備等に要した経費です。

第5項特別支援学校費、第1目特別支援学校費（450頁）は、

予算現額 119億6,723万1,000円
 支出済額 118億9,579万3,432円
 不用額 7,143万7,568円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	104億1,679万8,910円	県立特別支援学校教職員の 人件費
学校運営費	3億9,908万 960円	県立特別支援学校の管理運 営に要した経費
人事運営費	3億1,498万5,932円	県立特別支援学校教職員の 人事運営に関する経費
指導運営費	3億5,473万4,274円	県立特別支援学校のスクー ルバスの整備・運行委託、給 食調理・配送業務委託に要し た経費
就学奨励費	1億5,083万9,467円	児童生徒の就学による保護 者の経済的負担の軽減を図 るために要した経費
特別支援学校施設 建築費	2億5,935万3,889円	県立特別支援学校の施設整 備に要した経費

不用額の主なものは、人事運営費の執行残1,092万3,068円、就学奨励費の執行残825万5,533円および特別支援学校施設建築費の執行残3,784万7,111円です。

第6項社会教育費、第1目社会教育総務費（452頁）は、

予算現額	1億4,462万1,000円
支出済額	1億3,059万2,506円
翌年度繰越額	950万円
不用額	452万8,494円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
社会教育推進費	127万4,511円	社会教育事業の企画・指導等に要した経費
地域教育推進費	76万9,107円	子どもの読書活動の推進等に要した経費
熊野少年自然の家費	6,824万9,178円	熊野少年自然の家の管理運営に要した経費
鈴鹿青少年センター費	6,029万9,710円	鈴鹿青少年センターの管理運営に要した経費

翌年度繰越額は全額、鈴鹿青少年センター費です。

これは、鈴鹿青少年センター等に関する民間活力導入可能性調査を実施するもので、国の平成30年度補正予算に基づく事業であり、国の交付決定の時期などから、完了が令和元年度になるため、繰り越したものです。

不用額の主なものは、熊野少年自然の家費の執行残373万1,822円です。

次に、第6目文化財保護費（454頁）は、

予算現額 2億7,186万5,000円
 支出済額 2億7,140万4,301円
 不用額 46万 699円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
埋蔵文化財費	1億6,462万5,134円	埋蔵文化財センターの管理運営等に要した経費、国道建設工事等に伴う埋蔵文化財の受託発掘調査等に要した経費
文化財管理費	1億 677万9,167円	国指定および県指定文化財の保存、天然記念物等の保存管理、海女習俗映像記録作成等に要した経費

不用額の主なものは、文化財管理費の執行残42万5,833円です。

第7項保健体育費、第1目保健体育総務費（456頁）は、

予算現額 2億8,302万6,000円
 支出済額 2億3,224万5,378円
 不用額 5,078万 622円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校保健安全管理費	2億2,631万 39円	児童生徒の健康管理、学校における安全対策等に要した経費
学校給食対策費	593万5,339円	県立学校給食の衛生・品質管理の徹底、食育推進等に要した経費

不用額の主なものは、学校保健安全管理費の執行残5,015万3,961円です。

次に、第2目体育振興費（458頁）は、

予算現額 6億3,499万7,000円
支出済額 6億2,937万5,149円
不用額 562万1,851円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
運動部活動支援事業費	8,680万8,007円	運動部の全国・ブロック大会等の開催、参加等に要した経費
みえ子どもの元気アップ総合推進事業費	1,645万8,788円	子どもの体力向上推進、中学校への武道指導者派遣、中学校・高校への地域スポーツ指導者派遣に要した経費
県立学校体育施設開放事業費	353万4,250円	県立学校の体育施設の開放に要した経費
平成30年度全国高等学校総合体育大会開催事業費	5億2,257万4,104円	平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催に要した経費

不用額の主なものは、運動部活動支援事業費の執行残102万993円、みえ子どもの元気アップ総合推進事業費の執行残235万4,212円および平成30年度全国高等学校総合体育大会開催事業費の執行残206万6,896円です。

続きまして、第11款災害復旧費、第5項教育施設災害復旧費、第1目県立学校施設災害復旧費（476頁）は、

予算現額 1,501万1,720円
支出済額 1,328万9,107円
不用額 172万2,613円 で、

支出済額は、平成29年度の台風第21号により被害を受けた県立学校施設の復旧に要した経費のうち、前年度から繰り越したものです。

以上をもちまして、教育委員会関係の平成30年度一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わります。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。